

アルミ合金製 CSBC型作業台用手すりセット

組立説明書

このたびはCSBC型作業台用手すりセットをお買い上げいただきましてありがとうございます。この手すりセットを安全に使っていただくために、注意事項をよくお読みいただき手順に従って組み立ててください。

※組立て前に、部品数量を確認してください。

危険 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

●設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

- 組み立てる時はボルトを確実に固定してください。
- 使用前にはボルトのゆるみや抜け落ちを確認し、ある場合は締め直してください。
- 使用前に必ず点検し、異常のない事を確認してください。
- 手すりから身を乗り出さないでください。
- 手すりへ寄りかかったり、足をのせたりしないでください。
- 手すりを押ししたり、引いたりしないでください。
- 適応機種以外に取り付けて使用しないでください。
- 加工・改造をしないでください。
- 作業台取扱説明書をあわせてお読みください。

注意 「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- 使用に適した服装で使用してください。
- 雨や直射日光があたらない場所に保管してください。

アルインコ株式会社

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1

お客様相談室 ☎0120-302-669

10:00~16:00 ただし12:00~13:00及び土日・祝を除く

※この組立説明書は無断転用を禁じます。

2014094-F8

部品表

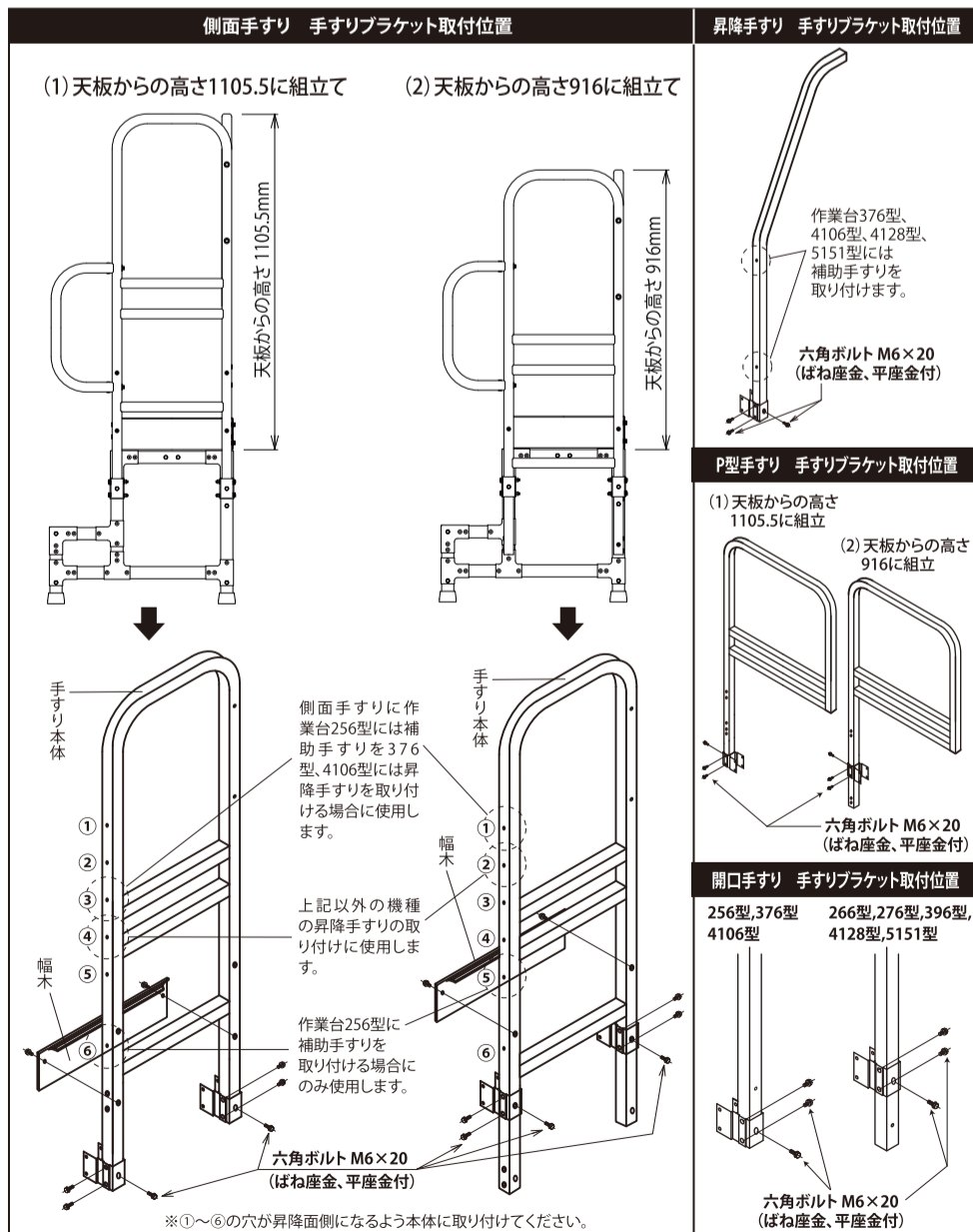
部品名	品番	部品図	セット数量					
			フルセット 手すり	正面付 片手すりセット	片手すり 片手すりセット	三方 手すりセット	片側開口 手すりセット	
側面手すり	CSBTS3L		ボルトセット					
			六角ボルト M6×60	4				
			六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付)	8				
			戻り止めナット M6	4				
			平座金 M6(大)	4				
			目隠しキャップ	16				
開口手すり	CSBTC3S		ボルトセット					
			六角ボルト M6×60	2				
			六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付)	3				
			戻り止めナット M6	2				
			平座金 M6(大)	4				
			目隠しキャップ	4				
昇降手すり	CSBTK2S CSBTK3S CSBTK5S		ボルトセット					
			六角ボルト M6×60	3				
			六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付)	3				
			戻り止めナット M6	2				
			平座金 M6(大)	1				
			目隠しキャップ	4				
P型手すり	CSBTP3L CSBTP4L CSBTP5L		ボルトセット					
			六角ボルト M6×60	4				
			六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付)	3				
			戻り止めナット M6	2				
			平座金 M6(大)	2				
			目隠しキャップ	2				
背面手すり	CSBTB3L CSBTB4L CSBTB5L		ボルトセット					
			六角ボルト M6×60	4				
			六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付)	4				
			戻り止めナット M6	4				
			平座金 M6(大)	4				
			目隠しキャップ	4				
背面巾木	CSBTH3 CSBTH4 CSBTH5		ボルトセット					
			六角ボルト M6×60	4				
			六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付)	4				
			戻り止めナット M6	4				
			平座金 M6(大)	4				
			目隠しキャップ	4				
手補助	CSBTE4S		ボルトセット					
			六角ボルト M6×60	2				
			六角ボルト M6×20 (ばね座金、平座金付)	2				
			戻り止めナット M6	2				
			平座金 M6(大)	2				
			目隠しキャップ	2				

※1 作業台256型用には付属していません。 ※2 作業台256型、376型、4106型、4128型、5151型用のみ付属しております。
※組立て完成後、側面手すり、開口手すり、昇降手すりで使用しなかった気になる穴は目隠しキャップでふさいでください。

手すりブラケットの取付(各セット共通)

組立てのポイント

- 昇降手すり、側面手すりは手すりブラケットを取り付ける方向により作業台の左右どちらにも取り付けることができます。(下図はすべて右に取り付ける場合です。左に取り付ける時は手すりブラケットを反対に取り付けてください。)
- 側面手すりは組立方法により作業台取付時の天板からの高さを1105.5mm、916mmのどちらかにする事ができます。それぞれ手すりブラケット、幅木の取付位置が異なりますので注意してください。(下図を参照)
- 組立ては図のボルト類でまずは仮締めし、作業台に取り付けてから本締めを行うようにしてください。



手すりフルセット

組立てのポイント

作業台本体に全ての手すりを一旦仮組みしてから、本締めを行ってください。

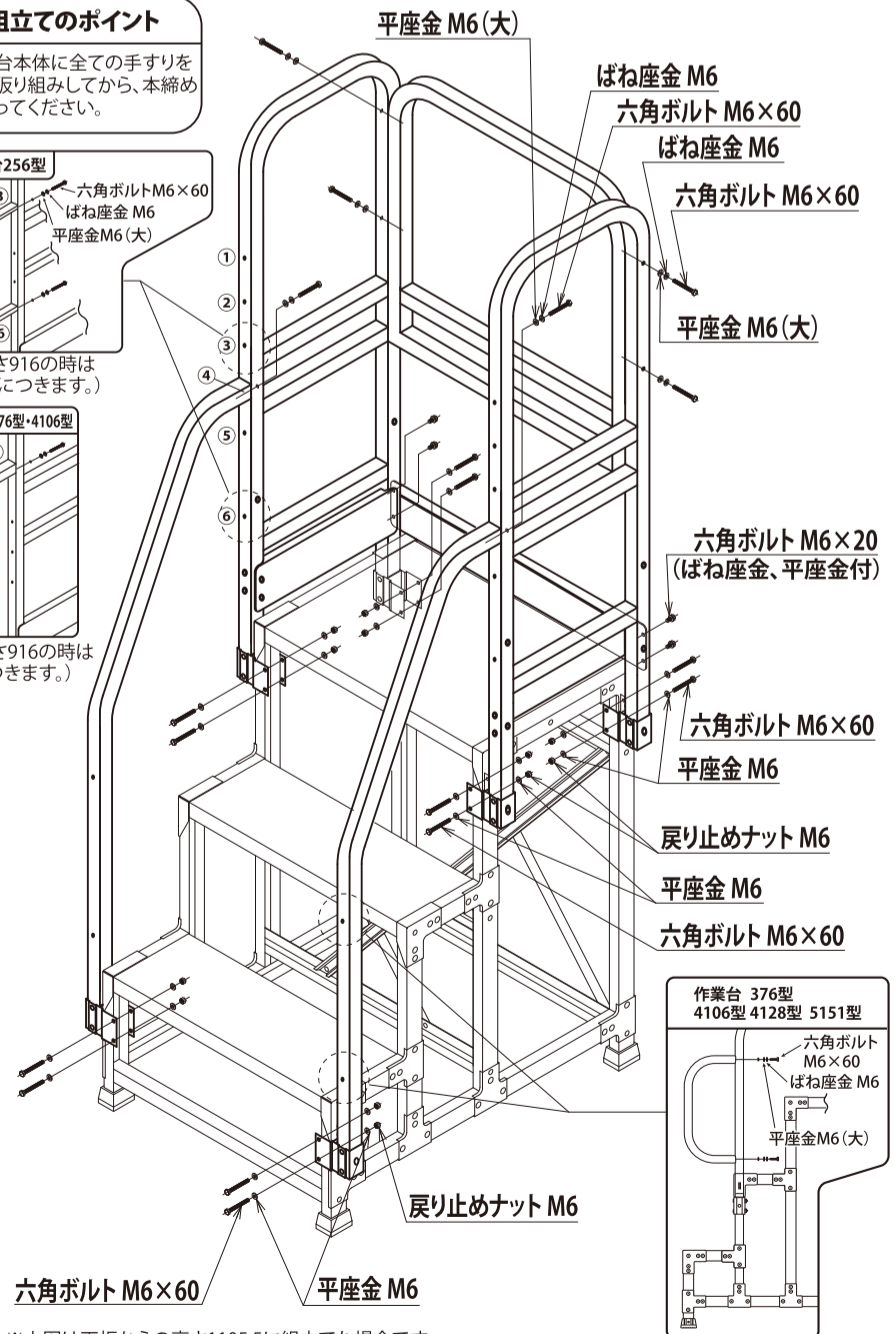
作業台256型

六角ボルト M6×60
ばね座金 M6
平座金 M6(大)

(※高さ916の時は①、⑤につきます。)

作業台376型・4106型

(※高さ916の時は①につきます。)



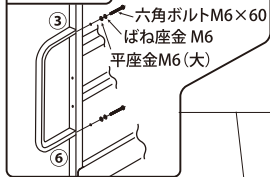
※上図は天板からの高さ1105.5に組立てた場合です。
(高さ916に組立てた場合は、④についている昇降手すりは②につきます。)

正面付片手すりセット

組立てのポイント

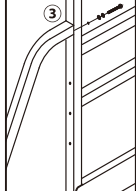
作業台本体に全ての手すりを一旦仮組みしてから、本締めを行ってください。

作業台256型

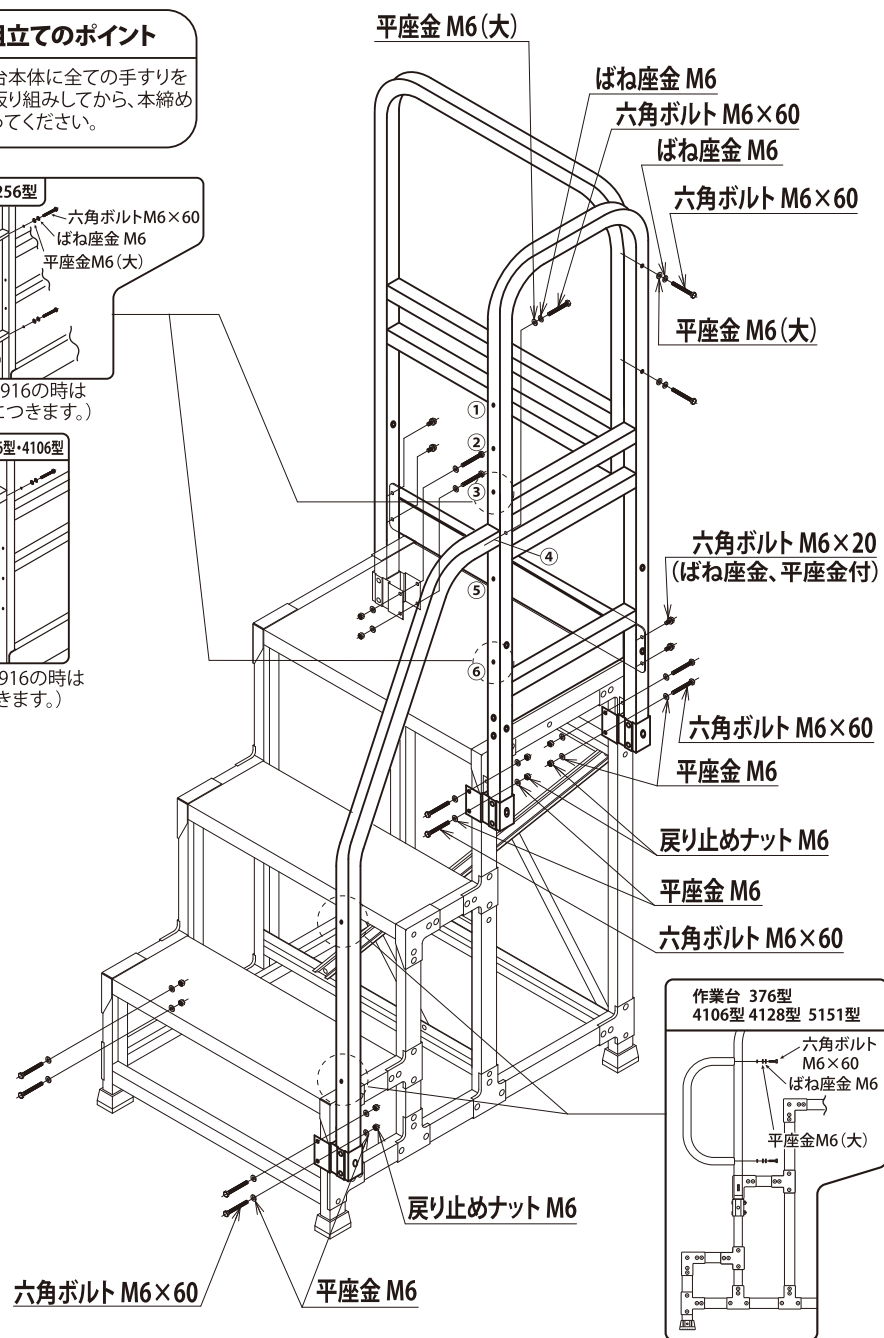


(※高さ916の時は①、⑤につきます。)

作業台376型・4106型



(※高さ916の時は①につきます。)



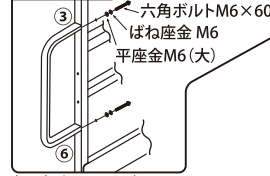
※上図は天板からの高さ1105.5に組立てた場合です。
(高さ916に組立てた場合は、④についている昇降手すりは②につきます。)

片手すりセット

組立てのポイント

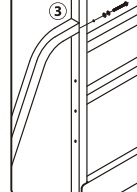
作業台本体に全ての手すりを一旦仮組みしてから、本締めを行ってください。

作業台256型

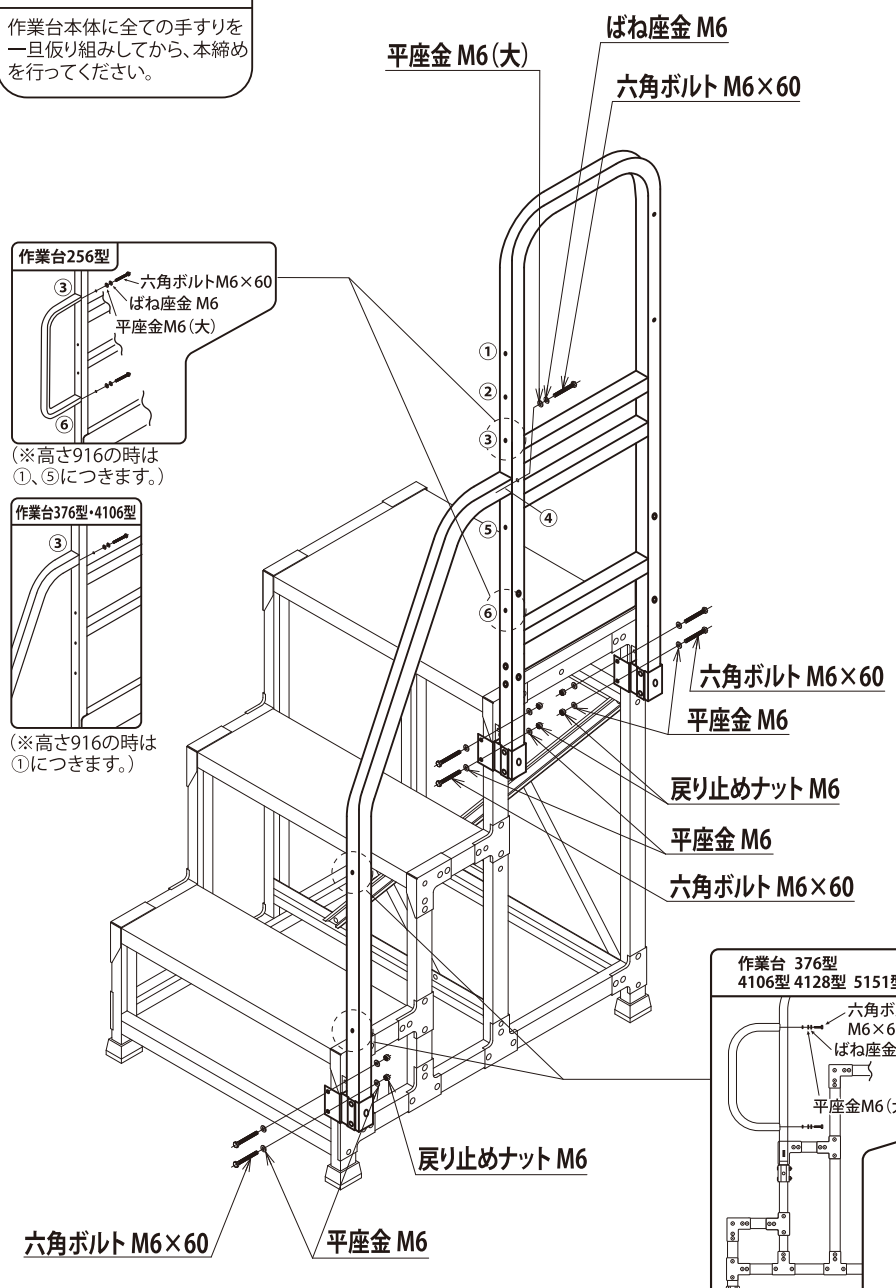


(※高さ916の時は①、⑤につきます。)

作業台376型・4106型



(※高さ916の時は①につきます。)

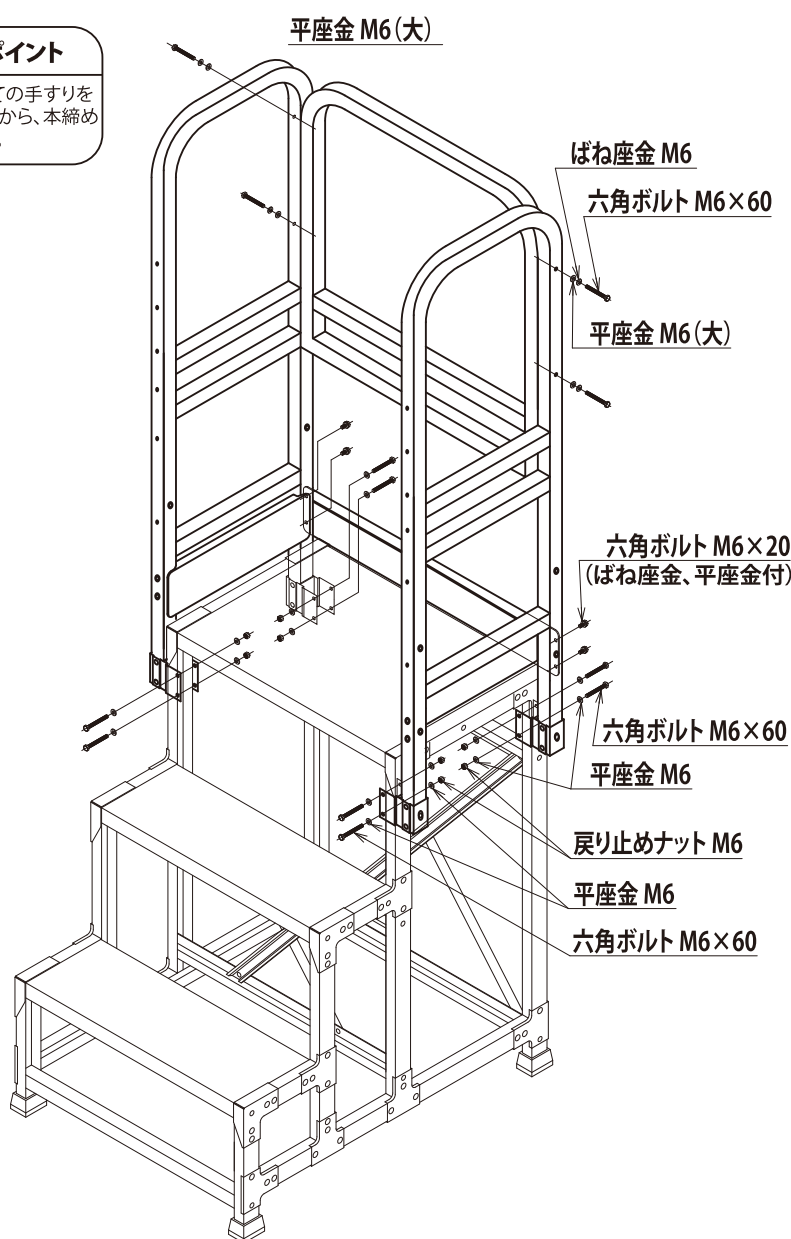


※上図は天板からの高さ1105.5に組立てた場合です。
(高さ916に組立てた場合は、④についている昇降手すりは②につきます。)

三方手すりセット

組立てのポイント

作業台本体に全ての手すりを一旦仮組みしてから、本締めを行ってください。



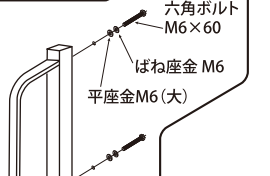
※上図は天板からの高さ1105.5に組立てた場合です。

片側開口手すりセット

組立てのポイント

作業台本体に全ての手すりを一旦仮組みしてから、本締めを行ってください。

作業台256型

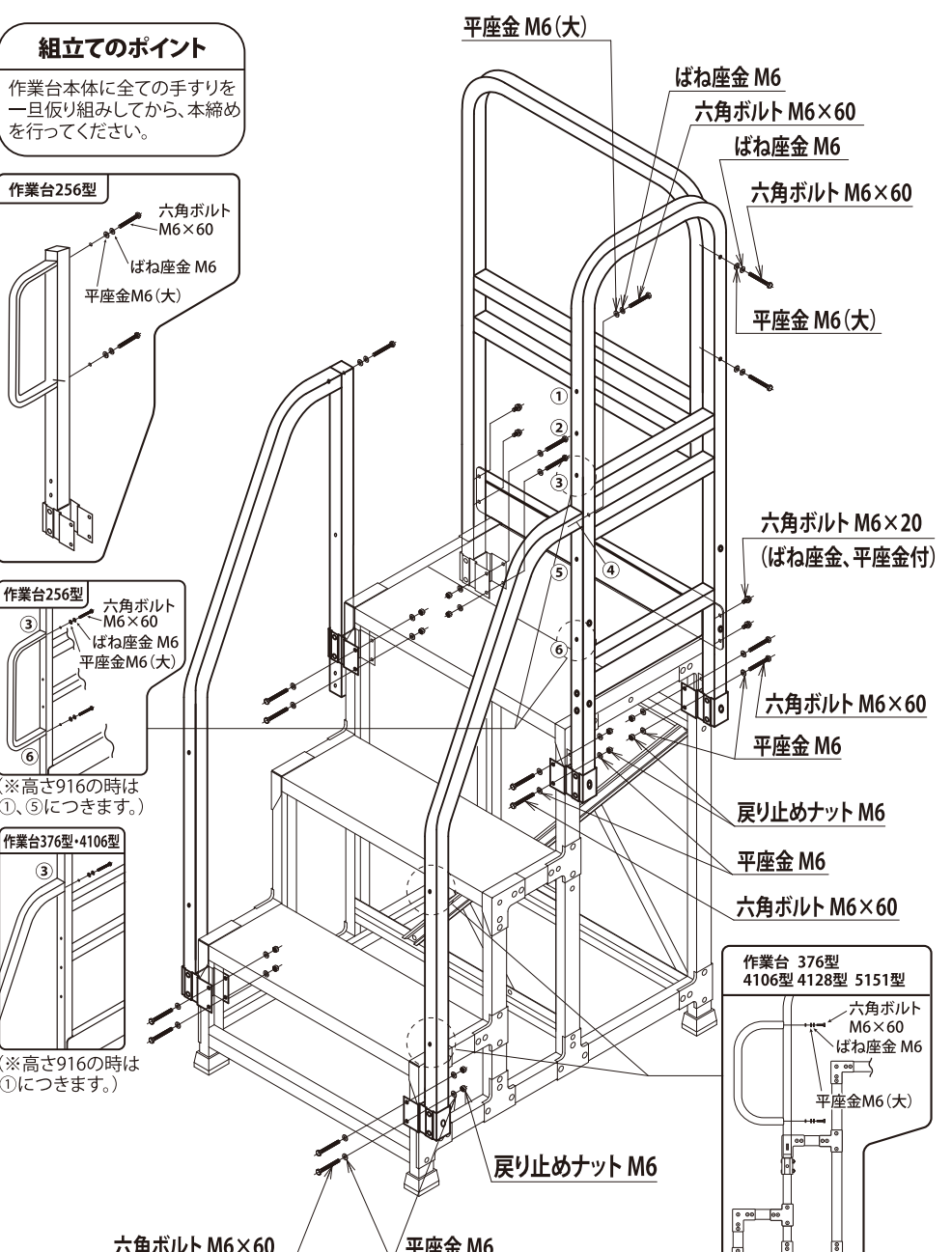


(※高さ916の時は①、③につきます。)

作業台376型・4106型



(※高さ916の時は①につきます。)



※上図は天板からの高さ1105.5に組立てた場合です。
(高さ916に組立てた場合は、④についている昇降手すりは②につきます。)